



太田 祐介

人口減少

全部過疎地域に指定されること

問 過疎指定についての所感を問う。

答 過疎指定を前向きに捉え、国の財政支援制度を有効活用しながら、農山村地域の持つ魅力や可能性を更に伸ばしていきたい。

問 人口減少の対策の方針を問う。

答 現在暮らす方々の満足度を高め、住み続けたいと思っていたただくことが基本と考える。地域の魅力を内から高めていくことで、人と人、地域と地域の縁をつなぎ、資源を補完しあえる関係性を構築していくことが重要であると考えている。

ドローン産業

問 町内でのドローン産業の現状認識を問う。

答 町内でスマート農業の実証実験や初心者への講習をされていることは認識している。

問 国の政策としてドローンの免許制度導入があり、活用が重要視されている。町の姿勢を問う。

答 空の産業革命ロードマップは認知している。今後、講習や訓練の施設について町に相談があれば検討していく。

農業の担い手づくり

問 耕作放棄地の解消に向けた方針を問う。

答 農地中間管理機構を通じての農地の貸し借りは、希望者にとってメリッ

トのある制度と考えている。また、高齢化や担い手がいらないことなどにより栽培や保安全管理がなされないことが生じてくるため、1年を通じての耕作支援が求められているが、それも限られているため、今後は行政も含め、公の組織の立ち上げも必要でないか考えている。

問 農業所得の向上について問う。

答 特産品栽培の普及によりブランド化を図ることで収益を上げ、他産業並みに所得と休暇が得ることができれば、若者の農業参入を促進させることができると考えている。

一般質問



平田 要

過疎地域の指定を受けて

問 町は過疎地指定を受けて、どうなるのか問う。

答 過疎地域持続的発展市町村計画を策定し、計画に基づいて行う事業について、財政上の特別措置等の活用が可能となる。

問 審議中の第6次町総合計画との関連について問う。

答 総合計画はまちづくりの基本的な指針であり、方針を過疎法に基づく計画に反映していく。

問 地域の活性化と関係人口増に向け、道の駅のサテライト版として過疎地対策債を活用した事業化について考えを問う。

答 農業振興施策を計画に盛り込み、今後その点

- 一、過疎地域の指定を受けて
- 二、水道企業団への統合に係る水道料金
- 三、消防団の組織の見直し

については検討していきたい。

水道企業団への統合に係る水道料金

問 能勢町・豊能町それぞれ異なる一般家庭の基本料金の考え方について問う。

答 大阪広域水道事業団が設置した料金検討部会において、様々な観点から検討される。

問 両町それぞれの水道加入金の検討・見直しについて問う。

答 今後の経営に与える影響を考慮しながら、会計統合と併せて検討していく。

消防団の組織の見直し

問 消防団組織の見直しについて問う。

答 消防団正・副団長会

で協議した検討内容を、消防団幹部に説明し、意見を求めている状況である。

問 町として、どれ位の団員数を想定されているのか問う。

答 面積等を勘案し250人程度を考えている。

問 再編の時期について問う。

答 報酬の支払方法について府からの指示もあり、速やかに再編に取り組んでいきたい。

